

さんせい せい 酸性・アルカリ性を調べる 試験紙をつくろう

調べたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

名前をわすれずに書こう。

年 組 名前 ()

きっかけ

どうして調べようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。



さんせい アルカリせいによって、いろいろな植物の色が変わるらしい。
植物の中でも色素を取り出しやすそうな、ナスとブルーベリーを使って、酸性・アルカリ性を調べる試験紙をつくってみようと思った。

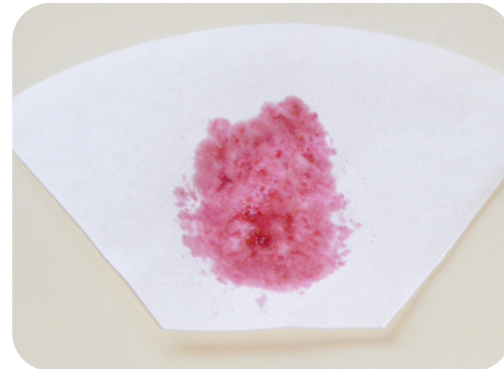
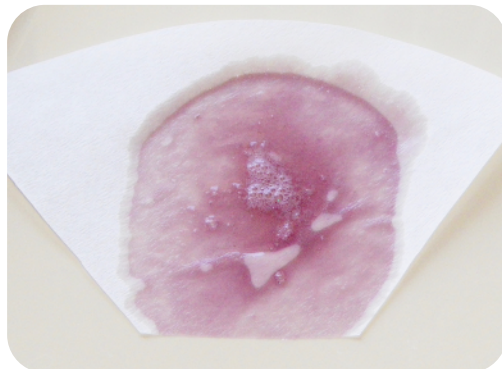
実験のやり方

使ったものや、調べるやり方を書こう。
絵や写真も使うとわかりやすいぞ。

ナスとブルーベリーをそれぞれビニール袋に入れて、色素の液が出るまでつぶすようにもむ。出てきた色素をコーヒーフィルターに染み込ませ、よく乾燥させてから幅5mm×長さ5cmくらいの帯状に切って試験紙をつくる。できあがった試験紙にスポイトで酢や重そうの水溶液をつけてみる。

<ナス>

<ブルーベリー>



予想

調べる前に、結果を予想して書く。
予想した理由も書こう。

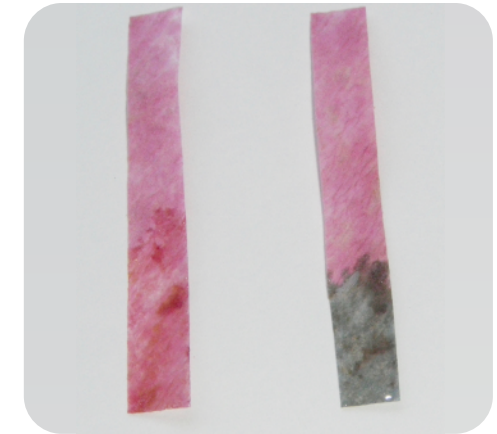
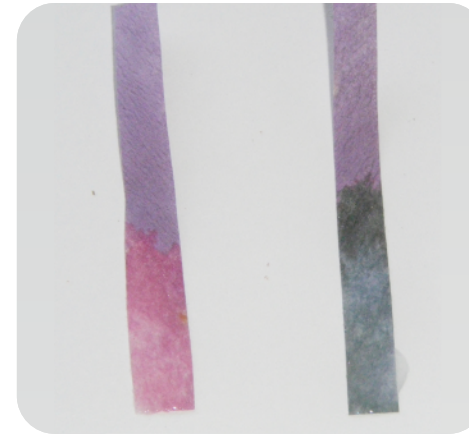
さんせい アルカリせい
酸性・アルカリ性を調べられる試験紙ができると思う。

結果

実験の結果だけを書く。
表やグラフ、写真を使うとわかりやすいぞ。

<ナス>

<ブルーベリー>



ナスでつくったものは、酸性もアルカリ性もよくわかった。ブルーベリーでつくったものは、アルカリ性はよくわかったが、酸性は少し色が濃くなった程度で、よく見比べるとわからなかった。でも、どちらからも酸性・アルカリ性を見分けることのできる試験紙をつくることができた。

わかったこと

結果からわかったこと、考えたことを書く。予想とちがったときはどうしてそうなったのか考えてみよう。

植物の色素を紙に染み込ませると、酸性・アルカリ性を調べられる試験紙ができる。

まとめ

結果とわかったことをまとめて、次に調べてみたいことを書こう。

いろいろな植物を使って、リトマス試験紙のように酸性・アルカリ性を調べられる試験紙ができることがわかった。今度は、植物から色素を上手に取り出す方法を工夫したり、いろいろな花びらを使って試験紙をつくったりしてみたい。